

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【公開番号】特開2003-53345(P2003-53345A)

【公開日】平成15年2月25日(2003.2.25)

【出願番号】特願2001-251625(P2001-251625)

【国際特許分類】

C 02 F 1/46 (2006.01)

【F I】

C 02 F 1/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月18日(2008.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原料水導入口と電解水導出口とを有する電解槽、前記電解槽内に設けられ、陰極板が配置された還元水生成室、前記電解槽内に設けられ、陽極板が配置された酸性水生成室、前記還元水生成室と酸性水生成室とを仕切る隔膜、および前記電解槽内に設けられ、前記原料水が前記陰極板および前記陽極板との接触を長く維持するように作用する流路規制手段を具備し、前記陰極板と陽極板との間隔は、0.1mmないし3mmであり、前記還元水生成室および酸性水生成室は、それぞれ原料水導入口および電解水導出口を有し、前記還元水生成室および/または酸性水生成室は、利用に供されない還元水または酸性水を循環させる循環系を備えることを特徴とすることを特徴とする電解水生成装置。

【請求項2】

前記陰極板および陽極板に接続される電源の極性を一定時間ごとに逆転させる手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の電解水生成装置。

【請求項3】

前記原料水中に、炭酸カルシウム、炭酸水素ナトリウム、塩化ナトリウム、および塩化カリウムからなる群から選ばれた添加剤と、ゼオライトまたは粘土からなる充填剤とを含む成形体を焼成して得た基材が収容されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の電解水生成装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかの項に記載の電解水生成装置を1ユニットとして、複数ユニットが接続されてなる、ユニット化電解水生成装置。